

1. バブルに関する参考文献

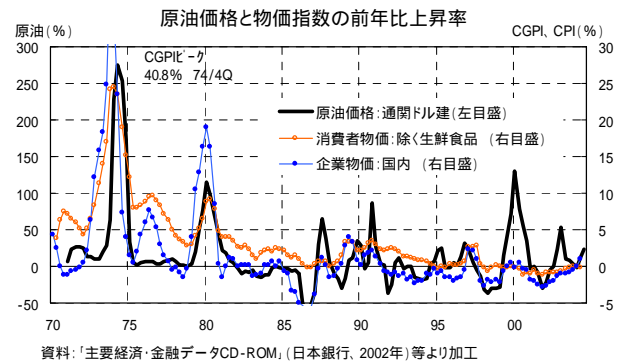
- ・「金融行政の敗因」西村吉正、文春新書、1999年

2. バブル崩壊期の時代背景

- ・バブル経済への**批判的論調** + **物価の上昇傾向**
(湾岸戦争と石油価格の上昇など)

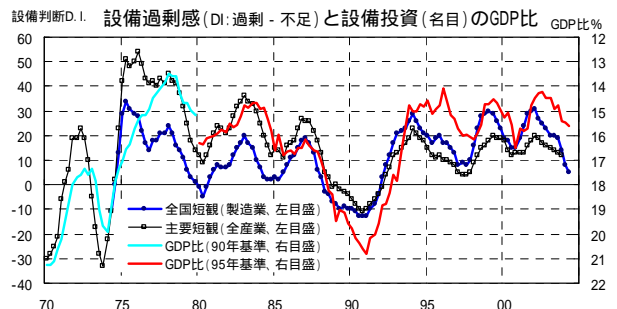
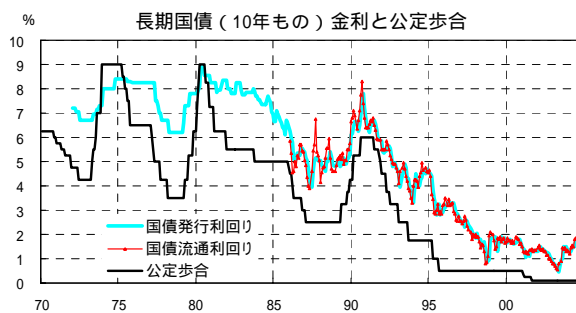
金融引き締めの動き

- ・**東西冷戦の終結** 東側諸国の西側市場への参入
- ・発展途上国等への**技術の波及**や**工場の海外移転**
- ・国内景気は減速から悪化へ(企業収益の悪化 + 設備投資の減少 **成長率低下**)



3. 金融面での政策対応

- ・日本銀行：**公定歩合を相次ぎ引上げ**(89年5月から15か月で5回、2.5% 6.0%) 6.0%を約10か月継続 長期金利も上昇
- ・大蔵省：**不動産融資規制の導入**(90年3月、住専については適用外)
- ・金融面の政策への歓迎ムード



4. 「永続可能性」を欠いていたバブル期の期待

- ・高くなり過ぎた地価・株価(東証1部のPER:85年末35倍 89年末71倍 90年末40倍)
- ・国内**成長産業の種切れ**
- ・東西冷戦の終結 + 継続する円高 + 工場の**海外への移転** **日本経済の有利性後退**
- ・**過剰設備**の顕現化:例えばリゾート施設の過剰供給(ゴルフ場の乱立+ゴルフ人口の伸び悩み、海外旅行ブーム、リピーターの限界)
- ・低金利が持続するという**期待の修正**

5. 株価の下落

- ・公定歩合の引上げ等に伴う**長期金利の上昇**
株式保有の魅力低下
- ・**設備過剰**の顕現化
- ・湾岸危機の発生や米国の景気悪化 **企業収益の悪化**(90年頃~) **収益拡大期待の修正**
- ・日本企業の**相対的強さの低下**
- ・**地価の下落**に伴う**企業価値の低下**



6. 地価の下落

- ・上記の金融面での政策対応 + 地価税の導入 + 固定資産税評価額の引上げ + 農地政策の転換など **土地保有の相対的魅力の低下**
- ・**地代や不動産賃料の頭打ち・低下**
- ・**商業地価**が**下落**に転化

以上